

安曇野市特別職報酬等審議会 会議概要

- 1 審議会名 安曇野市特別職報酬等審議会
- 2 日 時 令和元年8月19日 午後3時30分から午後4時50分まで
- 3 会 場 安曇野市役所本庁舎 4階 会議室403
- 4 出席者 中野会長、清澤会長代理、尾碁委員、高橋委員、筒井委員、林委員、
藤松委員、藤原委員、丸山委員、横山委員
- 5 市側出席者 宮澤市長、金井総務部長、長崎職員課長、洞課長補佐、白澤主査
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 1人
- 8 会議概要作成年月日 令和元年8月22日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会 (金井総務部長)
 - (2) 委嘱書の交付
 - (3) あいさつ (宮澤安曇野市長)
 - (4) 自己紹介
 - (5) 会長の選出、会長代理の指名
 - (6) 市長から諮問
 - (7) 議事
 - ① 市議会議員の報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額の状況について
 - ② その他
 - (8) 閉 会 (清澤会長代理)
- 2 審議概要
 - ① 市議会議員の報酬及び政務活動費の額並びに市長、副市長及び教育長の給料の額の状況について (事務局より説明)
 - ・特別職の報酬は、国で定められているのか、自治体で独自で定めているのか。
→地方自治法上、各自治体において条例で定めることになっている。
 - ・「類似団体」と「同規模の自治体」の違いは。
→類似団体については国が定める基準があり、人口的に言うと5万人以上10万人未満の中で、定められた産業構造、Ⅱ次とかⅢ次といったものが90%未満かつⅢ次が55%以上の分類に属する、Ⅱ－1という団体の中に安曇野市は含まれている。それが69市、全国にある。同規模のというのは、例えば人口規模での比較、県内の中で言うと、佐久市、飯田市といったところが同規模の自治体になる。財政力指数とかそういったもので比較する場合もあるが、人口的な比較が主なものになるかと思う。
 - ・人事院勧告に準じて国の特別職も改定しているとのことだが、一般職が平成26年度以降プラスになっている中で国の特別職は平成28年度以降改定の経過がないのはなぜか。また、安曇野市においては改定の経過がないということでしょうか。
 - 人事院勧告に準じて国も改定を行っているが、直接大臣等の報酬の額には影響がなかったということではないかと思う。民間との差がこれだけあるので改定するというのが人事院勧告だが、国の特別職では改定の必要がなかったのか、若しくは改定するほどの差が生じなかったのではないかと推測する。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

- ・ 県内19市の財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率の合併以後の推移がわかる資料があるとよい。
- ・ 県内他市は、特別職の報酬をどのような頻度で改定しているのか。また、審議会の開催状況はどうか、資料があればいただきたい。
- ・ 平成30年度に政務活動費を9万円から12万円に増額したが、同時に返還金も増加しているように思える。増額したことの成果を検証していく必要があるのではないか。

→ 議会事務局に確認する。

- ・ 期末手当の加算率とはどのような考え方のものなのか。

→ 一般職で言うと、職務に応じた加算率というのがあり、例えば3級主査の場合は加算率5%、副主幹は10%、それ以上は15%となっており、それに準じた中で条例で定めている。

- ・ 県内19市の特別職の報酬の年額が比較できる資料をお願いしたい。類似団体69市と比較して検討するという考え方も分かるが、県内の身近な19市の中で安曇野市はどのなのかというのを見るのが一般的なのではないか。

→ 質疑や追加資料の要望については、次回の審議会までに提供させていただく。

② その他（今後のスケジュールの確認）

【次回：令和元年9月24日（火）午後1時30分から】